

平成 26 年 5 月 30 日現在

機関番号：33917

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23520722

研究課題名(和文) Creating an Online Study Abroad Center

研究課題名(英文) Creating an Online Study Abroad Center

研究代表者

CRIPPS Anthony (Cripps, Anthony)

南山大学・外国語学部・教授

研究者番号：20352437

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,900,000円、(間接経費) 1,170,000円

研究成果の概要(和文)：この研究プロジェクトは、自主性を促進するためのオンライン自己学習センターの調査および英語圏での留学を準備している日本人大学生をサポートする「Online Study Abroad Center (OSAC)」の設立を目的とする。多くのOSAC教材の保管場所を専用ウェブサイトから移動させInteractive Study Abroad Text (ISAT)の中に組み入れることとした。過去の研究により得られた学生が認知している必要性に基づき、10種類の教材を作成した。OSACやISATの利用により、学生は試験の点数やコミュニケーション能力全体が驚くほど改善したと述べていた。

研究成果の概要(英文)：This research project aimed to investigate autonomy supportive online self-access centers and to create an Online Study Abroad Center (OSAC) which would support Japanese university students who are preparing to study in an English speaking country. The functionality that the eBooks Author software offers warranted a reconsideration of the appropriate platform for the OSAC self-study material. A decision was made to switch the location of much of the OSAC material from the dedicated website and incorporate it into an Interactive Study Abroad Text (ISAT). Ten categories of material were created based on the perceived needs of the students gained through past research. By using the OSAC and the ISAT students stated that their test scores and overall communicative competence showed a marked improvement.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：教育工学 教材 教育メディア一般 ラーナーオートノミー オンライン学習

1. 研究開始当初の背景

この研究は、自主性のサポート体制についての取り組み (Benson, 2001; 2005) や、日本の「デジタルネイティブ (生まれた時からインターネットやパソコンのある生活環境の中で育ってきた世代)」をサポートする必要性があること (Prensky, 2001) に基づいている。これまでに自立学習センターの設立や効果についての多くの研究が行われているが (Reinders, 2006)、海外での英語学習を希望する日本人学生へのサポートが現在行われていないのは明らかである。多くの日本人学生は自己学習を取り仕切るための自主性に欠けている。

しかしながら、2013年からの英語カリキュラムの変更や4G通信デバイスのような最先端技術の増進は、日本の大学生は英語力を改善する絶好のチャンスをもたらしている。この研究プロジェクトは、自主的教材施設に関する過去の研究調査をさらに進めることを目的とした。

2. 研究の目的

この研究プロジェクトは、自主性を促進するためのオンライン自己学習センターの調査および英語圏での留学を準備している日本人大学生をサポートする「Online Study Abroad Center (OSAC)」の設立を目的とする。学生のTOEFLやTOEICに対する能力改善の手助けになるだけでなく、OSACは全体的な英語によるコミュニケーション能力改善や海外留学経験前後あるいは留学中の文化的知識の改善にも役立つ。

3. 研究の方法

まず研究の第一段階として、現在までの文献を確認し、日本と海外の大学における自己学習センターの設立について調べた。自己学習センターを専門とする研究者に問い合わせを行った。OSAC教材が作られたら、最適なオ

ンラインシステムを選択した。留学予定のある1人のコホート学生がそのシステムを利用するのを追跡した。量的および質的データの集積には混合法による手法を用いた。作成教材の有用性についての学生の見解を得るためにオンラインアンケートを実施した。学生の英語テスト取得技能 (TOEFLおよびTOEIC) がシステムを利用することにより改善したかどうかについても調査を行った。学生は英語力を改善するために作成された教材や文化的知識を改善するための教材を利用した。質的データは学生へのインタビューにより集積した。

4. 研究成果

電子書籍を作成できるアプリケーションである iBooks Author の機能により、OSAC 自己学習教材のための最適なシステムを再考する必要があることは明らかであった。もともと、学生が留学を予定している国が出身である英語のネイティブスピーカーのインタビュービデオファイルを入れる予定としていた。Moodle (オープンソースのeラーニングプラットフォーム) における最大の障害となったのは、アップロードできるビデオサイズに制限があることであった (Moodle, n.d. を参照)。多くの OSAC 教材の保管場所を専用ウェブサイトから移動させ ISAT の中に組み入れることとした。ビデオファイルを Interactive Study Abroad Text (ISAT) に組み込むことによって、より大きなファイルを使用できるようになり、専用サーバーに入れておくよりも一箇所 (学生の所有する iPad など) に保存できるようになった。さらに、説明文や相互評価テストを入れることができることも魅力的であり、さらに有用であった。教材収集は 2012 年の春から始めた。ビデオや写真は、研究のために英国とオーストラリアを訪問した際に集積した。どちらの国でも教師や居住者にインタビューを行った。自分の国の文化や日本人学生が直面する言葉に

関する問題について語ってもらった。以前、3年に渡って日本人学生の様々なグループと一緒に British Columbia 大学を訪れた際に、カナダで集めたほかの教材と今回の教材を合わせて使うようにした。過去の研究(Cripps, 2011a; Cripps 2011b)により得られた学生が認知している必要性に基づき、10種類の教材を作成した。

Table 1. Main features of the Interactive Study Abroad Text

Category	Description
Video interviews	<p>Teachers talking about Japanese students and the typical problems they face when living and studying abroad.</p> <p>Japanese students who are studying overseas talking about the typical problems they face when living and studying abroad.</p> <p>Native speakers of English talking about life in their country.</p>
Recorded lectures	Videos of lectures and classes given by English teachers and professors from the UK, Australia and Canada.
Recorded presentations	Videos of presentations given by English teachers and students from Japan, UK, Australia and Canada.

	Many of these presentations are based on a cultural theme e.g. 'Manners in America', 'A guide to buying fast-food' etc.
Recorded advice	Videos of advice given by students from Japan who have studied abroad.
TOEIC listening practice	Audio files used to help students improve their listening ability. Some practice questions use photographs.
Annotated photos	Annotated photos used in conjunction with audio files explaining the scene.
Sample conversations	Audio files of conversations between students and native speakers of English talking about daily cultural topics.
Vocabulary building exercises	Academic and conversational multiple-choice tests designed to help increase vocabulary (including slang)
Samples of students' work	Examples of notes, essays, e-mails etc. with comments (text and audio) from students and teachers.

Text files	Many files written to provide students with linguistic and cultural support.
-------------------	--

写真に注釈を付けることができるのが iBooks Author の特徴であり、これによって作成者は対話的な画像を表現するための言葉を作り上げる練習をすることができる。学生は、iBook の中にあるどの写真でも拡大したり細部まで見ることができる。



Figure 1: Screenshot from interactive annotated photograph

ISAT のカテゴリーは iBooks Author の双方向的特徴を生かせるように分類した。マルチタッチ機能は、既存形態の書籍やほとんどの電子書籍でもできないような方法で読み手が iPad テキストと相互作用することができる。

OSAC プロジェクトとそれに付随した iPads のための ISAT (Cripps 2011, 2012, 2013 を参照)の結果は、非常に将来性があるといえる。南山大学の数名の学生が最初に使用したことにより、多くの前向きな意見や将来に向けての改善や発展のためのアイデアを得ることができた。学生たちは教材が非常に有

用で効果的であったと述べていた。文化や言語の両方に関して、海外留学する際にチャレンジしなければいけないことに対する準備の手助けとなった。多くの学生が、オンラインで教材を所持することや相互作用のあるテキストという形式であることなどが学習意欲をおこさせ、効果的であったと述べている。OSAC や ISAT の利用により、学生は試験の点数やコミュニケーション能力全体が驚くほど改善したと述べていた。

5 . 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 3 件)

Cripps, A. C. (2014). *The Interactive Study Abroad Text (ISAT): Helping Students to Prepare to Study Abroad*. Conference Proceedings. The 17th AILA World Congress. (Refereed). Planned publication Dec. 2014.

Cripps, A.C. (2012). *Using iBooks Author and iPads to help students prepare for studying abroad*. Conference Proceedings. The 5th CLS International Conference. National University of Singapore. (Refereed). Dec. 2012.

Cripps, A.C. (2012). *"If someone doesn't say anything it's hard to help them": Students' and teachers' perspectives on studying abroad*. Conference Proceedings. The 5th CLS International Conference. National University of Singapore. (Refereed). Dec. 2012.

[学会発表](計 4 件)

Cripps, A. C. (2014). *The Interactive Study Abroad Text (ISAT): Helping Students to Prepare to Study Abroad*.

The 17th AILA World Congress. Brisbane,
Planned announcement August 2014.

Cripps, A. C. (2014). *Creating a Study
Abroad Multi-touch Textbook using iBooks
Author*. The 14th International Conference on
Education. Honolulu, Jan. 2014.

Cripps, A.C. (2012). *Using iBooks Author
and iPads to help students prepare for
studying abroad*. The 5th CLS
International Conference. Singapore,
Dec. 2012.

Cripps, A.C. (2012). *“If someone doesn’t
say anything it’s hard to help them”:
Students’ and teachers’ perspectives on
studying abroad*. The 5th CLS
International Conference. Singapore,
Dec. 2012.

〔図書〕(計 件)

6 . 研究組織

(1)研究代表者

クリップス アントニー (CRIPPS, Anthony)

南山大学・外国語学部・教授

研究者番号：20352437